

授業科目名： 初等教科教育法 (生活)	教員の免許状取得のための 必修科目(選択科目)	単位数： 2 単位	担当教員名：片山 雅男 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目		教科及び教科の指導法に関する科目	
施行規則に定める 科目区分又は事項等		教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) 「生活」	
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>児童の探究心を育み、豊かな体験の世界を広げていくための生活科の学習指導法を学ぶ。</p> <p>(1) 生活科の趣旨並びに要点、目標、内容構成の基本的な視点について修得する。</p> <p>(2) 生活科の個別内容とその指導上の留意点について習得する。</p> <p>(3) 生活科の教材研究、学習指導、学習評価等についての理解を図り、レポート、並びにスクリーングにおいて学習指導案等を作成する中で教員に必要な生活科指導法に関する実践的指導力を身につける。</p> <p>(4) 情報機器の特性を理解し、生活科の学習指導での活用を図る。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>生活科の特質は、直接体験を重視した学習活動を行うこと、身の回りの地域や自分の生活に関する学習活動を行うことであることを理解する。さらに、それらの学習活動を通して児童自身の生活や児童自</p>			

身のことについて考えさせたり、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせたりして、児童の自立への基礎を養う指導法について学ぶ。学習指導案の作成及び模擬授業によって実践的な指導法を修得する。また、情報機器の効果的な活用や自然観察の手法を学ぶとともに、模擬授業等のアクティブラーニングもおこなう。

#### 授業計画

第1回：生活科の趣旨と要点

第2回：生活科の目標の構成と趣旨

第3回：学年目標の趣旨

第4回：内容構成の基本的な視点

第5回：内容を構成する具体的な学習活動や学習対象

第6回：生活科の内容と指導①－「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」に関して

第7回：生活科の内容と指導②－「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」に関して

第8回：生活科の内容と指導③－「自分自身の生活や成長に関する内容」に関して

第9回：教材研究及び学習指導の進め方（情報通信技術の活用を含む）

第10回：学習評価の進め方

第11回：単元計画の作成①－内容の組み合わせ、学習活動の組織化

第12回：単元計画の作成②－発達・成長への配慮、評価の在り方

第13回：生活科の学習指導案の作成

第14回：模擬授業の実施と振り返り

第15回：まとめ

定期試験：

#### スクーリングでの学修内容

小学校学習指導要領生活科の改訂の要点や生活科の役割及び目標など、教科の本質に関する内容の理解を図る。その上で、(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわったりする活動」や(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動」などで、身近な自然の観察・利用の手法を学び、学習指導案の作成並びに模擬授業を行う。内容の理解や学習指導案の作成並びに模擬授業ではアクティブラーニングの手法も用いて実施する。

#### 教科書

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編』東洋館出版社

#### 参考文献

市販の小学校生活科教科用図書（教科書）

#### 学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。

